

大学院生、学生 の皆さんへ

湘南校舎新型コロナ対策本部  
ユニバーシティビューロー（健康推進担当）  
宮崎誠司

### 陽性者・濃厚接触者の入構制限期間の変更について

政府は感染者増加に伴い欠勤を余儀なくされる濃厚接触者も急増し、社会経済活動を維持していくため濃厚接触者の待機期間を見直しました。湘南校舎では、陽性者・濃厚接触者に入構制限をしていましたが、陽性者・濃厚接触者の入構制限期間を以下のように変更いたします。陽性者の療養期間（入構制限期間）は10日のまま変更ありません。

感染は更なる拡大をみせており、今まで以上に個々の感染対策や集団としての感染対策が求められます。会食や感染が流行している場所に行かないなど感染リスクを回避すること、孤食・黙食を徹底すること、自身の健康観察の継続を行い体調不良時に他の人に接触しないこと、日常的に（不織布）マスクを着用すること、手洗いや手指衛生を徹底すること、活動時の3密を回避することをお願いします。特に、感染リスクの高い場面で活動されるときは十分注意して下さい。

- 陽性者の入構制限期間は「発症日から10日間が経過し、かつ症状消失から72時間経過した場合」「無症状者は陽性検体が採取された日から7日間が経過」とする。
- 濃厚接触者の待機期間は、感染者と最終接触した日から5日間（6日目解除）とする。  
同居家族への対応：オミクロン株の特徴を踏まえ、同一世帯内のすべての同居者は濃厚接触者となります。同居者の待機期間については、感染した同居家族の発症日（無症状の場合は検体を採取した日）、または住居内で感染対策（家庭内でのマスク着用、物資の共用を避けるなど）を講じた日のいずれか遅い方を0日目として、5日間（6日目解除）となります。
- 大学院生・学生は、検査が陰性であった場合の濃厚接触者の待機期間を短縮できる取扱いにはなりません。

以上